# Pickup NEWS

## Macword Expo 2006、スティーブ・ジョブス CEO 基調講演レポート
## インテル製 CPU 搭載の iMac とノートブック「MacBook Pro」を発表

1月10日～14日まで米国サンフランシスコにて Macword Expo 2006 が開催された。

皮切りとなる米アップル CEO のスティーブ・ジョブス氏による基調講演では、大きな発表が行われるのが恒例となっている。現在のアップルは iPod と iTunes で携帯音楽市場を席巻しているため、Mac ユーザーのみならず、アップルの動向が気になる関係者によって、今年はどんな発表がなされるか注目されていた。

開催前からさまざまな噂が流れていたが、いざふたを開けてみれば iPod と iTunes 関係では FM チューナー内蔵リモコン「iPod Radio Remote」が発表されただけで、主役はアップル史上で初めてインテル製 CPU を搭載した新型 Mac であった。

基調講演にはインテルのポール・オッテリーニ社長も駆け付け、半導体製造時に作業員が身に付けるクリーン・スーツ姿で登場して、ジョブス氏にシリコンウェハーを手渡すというパフォーマンスを見せた。

講演の最後には、アップル創業当時のジョブス氏とスティーブ・ウォズニアック氏の写真が「2006年4月1日」という日付とともに映し出された。アップルは、この日にちょうど創業から30周年を迎えることになるが、同時にまた新たな発表を期待させる幕切れとなった。

今回発表されたのは、液晶ディスプレイ一体型でインテルの最新デュアルコア CPU である Intel Core Duo を搭載した「iMac」と、同じく Intel Core Duo を搭載したノート型の「MacBook Pro」の2製品。iMac は発表と同時に販売が開始され、MacBook Pro は2月から出荷開始の予定。

毎年恒例となっている米アップル CEO スティーブ・ジョブス氏による Macworld 基調講演。冒頭では2005年第4四半期のアップルストアすべての売り上げが、初めて10億ドルに達したと明らかにした。

米インテルのポール・オッテリーニ社長がゲストで登場。半導体製造用のクリーン・スーツ姿でステージに上るサービスぶり。

創業当時のジョブス氏とスティーブ・ウォズニアック氏。アップルが創業30周年を迎える2006年4月1日に、何かが起きることが期待させる。

同時に発表された GarageBand の新バージョン。簡単な操作でポッドキャストの番組が作成できる便利なソフトウェア。

15.4インチ（1,440×900ドット）の液晶を搭載した MacBook Pro。液晶も従来より明るくなった。

Intel Core Duo を搭載した iMac。CPU 以外の筐体サイズやディスプレイのスペックなどは、iMac G5 とまったく同じ。


インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

## ソフトバンクとヤフーが動画配信事業で合併
# 「Yahoo!動画」は動画コンテンツのポータルへ

ソフトバンクとヤフーは2005年12月19日、動画コンテンツ配信サービス事業の強化に関する発表を行った。

両社は、共同出資によるTVバンク株式会社を設立し、ソフトバンクとヤフーの動画コンテンツ事業にかかわる人材とノウハウを集約する。

TVバンクの社長には孫正義氏（ソフトバンク社長）、取締役には井上雅博氏（ヤフー社長）がそれぞれ就任。

これに合わせて、ヤフーは同社が運営する「Yahoo!動画」を大幅にリニューアル。コンテンツに動画広告を挿入して、広告主から収入を得るビジネスモデルを導入して、これまでの有料会員向け中心のサービスを一新。無料コンテンツを中心に約10万本の動画コンテンツの配信を開始し、これまで有料会員限定であったコンテンツの多くも無料へと切り替えるとした。また、国内外のコンテンツパートナーの協力を得て、コンテンツの充実を図る。

さらに新機能の動画検索を追加。Yahoo!動画サイト以外の動画コンテンツにもアクセスすることが可能で、動画検索インデックスの早期構築にも取り組む。

サービス開始当初のコンテンツ数は、無料1万6000本、有料1万5000本、検索結果の7万本を合わせた約10万本。無料コンテンツであれば、ユーザー登録せずに、1クリックで動画を再生できる。

今後さらに、視聴者参加の映像コンテストを実施。デジタルハリウッド共催の「ショートムービーコンテスト」、オスカープロモーション共催の「インターネット美女コンテスト」などが予定されている。

http://streaming.yahoo.co.jp/

ブロードバンドの普及で動画や音声主体のインターネットIIの時代へ変化すると語る孫正義氏（左）と井上雅博氏（右）。

続々とコンテンツを追加するYahoo!動画。国内最大級のページビューを誇るヤフーであるだけに、広告媒体としても注目される。

## 「Google Earth」にMac OS X用ベータ版が登場
## Windows版も正式版へとバージョンアップ

米Googleは1月10日、地図ソフト「Google Earth」のMac OS X用ベータ版とWindows XP/2000用の正式版を同時にリリースした。どちらもGoogle Earthのウェブサイトから無料でダウンロードできる。

Mac OS X用のGoogle Earthは、昨年末にインターネットに流出したことから、発表が間近との噂が広まっていた。

今回新たにリリースされた「Google Earth for Mac」ベータ版は、Mac OS X 10.4以上に対応し、Windows版のGoogle Earthと同等の機能を提供している。

Google Earth for Macの最低動作環境は、CPU：600MHz、ハードディスクの空き容量：400MB、システムメモリー、128MB、ビデオRAM：16MB、画面解像度：1024x768, 32-bit color、インターネット回線速度：128Kbps。

また推奨される動作環境は、CPU：1.2GHz、ハードディスクの空き容量：2GB、システムメモリー：512MB、ビデオRAM：32MB、画面解像度：1280×1024、32ビットカラー、インターネット回線速度：768Kbpsとなっている。

なお、Windows版で有料提供されている「Google Earth Plus」と「Google Earth Pro」は、現時点では提供されていない。

http://earth.google.com/

1月10日に公開されたMac OS X用のGoogle Earth。地図はWindows版と同様のデータを提供している。

## マイクロソフトが企業向けのWindows
## デスクトップサーチを提供

マイクロソフトの運営するインターネットポータルサイトMSNは、これまでコンシューマー向けに提供していた「Windows デスクトップサーチ」を企業向けに最適化し、自分のPCや電子メールメッセージ、イントラネットの社内共通ファイルなどから必要な情報を迅速かつ的確に探し出すことを可能にする「企業向けWindows デスクトップサーチ」と、ポップアップブロッカー、タブブラウズ、キーワードナビビューアなどのウェブ検索支援機能を搭載した「企業向けMSNサーチツールバー」の提供を、1月17日より開始した。

ダウンロードは無料で、「企業向けWindows デスクトップ サーチ」および「企業向けMSN サーチ ツールバー」は、それぞれ単体でのダウンロードとなる。

http://www.microsoft.com/windows/desktopsearch/ja/

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

## au携帯電話に分散型音声認識機能「声de入力」を搭載

KDDIは1月12日、au携帯電話に分散型音声認識機能「声de入力」機能を搭載し、2月上旬よりナビタイムジャパンとの協業により歩行者向けナビゲーションサービス、EZナビウォーク「声で乗換検索」「声で目的地検索」でこの機能の提供を開始すると発表した。

利用者は、「声で乗換検索」や「声で目的地検索」を使うことにより、画面を見ずに発声するだけで乗換検索や、目的地検索が可能となる。

分散型音声認識機能とは、音声認識機能を携帯電話側とサーバー側に分散配置し、携帯電話側であらかじめ利用者の発声した音声の特徴情報を抽出してサーバー側に送信し、サーバー側で音声認識処理を行うもの。高性能なサーバーを利用することで、音声認識を高精度で実現することが可能となった。

## BBモバイル、「WiMAX推進準備室」を設立 WiMAXの研究開発体制を強化

BBモバイルは、WiMAX（IEEE 802.16e）の研究開発を強力に推進するため、1月1日付をもってWiMAX推進準備室を設立した。

同社は、携帯電話事業への参入を進めるなかで、特にワイヤレスブロードバンドに注目し、2005年10月には、W-CDMA、無線LAN、WiMAXの3種類のネットワーク間でのハンドオーバー実験に成功するなど、商用サービスに向けてこれまで準備を進めてきた。

WiMAXは、ワイヤレスブロードバンド通信に適した通信方式として注目されている。今回のWiMAX推進準備室の設立は、このWiMAXの実用化に向けた研究開発をより強力に推進できるよう技術者を中心とした専任スタッフを集中的に投入するためのもの。室長にはソフトバンクBBのCTO 筒井 多圭志氏が就任する。

## NTT西日本、「ひかり電話」に対応した無線IP電話機を販売開始

NTT西日本は、IEEE 802.11b準拠の無線IP電話機「ひかりパーソナルフォンWI-100HC」を1月16日に発売した。

WI-100HCは、NTT西日本が提供する0AB～J番号利用のIP電話サービス「ひかり電話」に対応し、ひかり電話の付加サービスである「追加番号（マイナンバー）」「複数チャネル（ダブルチャネル）」を組み合わせて利用することで、個人毎に電話番号を使い分けたり、電話2回線分を同時に利用するといったことができる。

WI-100HCは、USB 1.1/2.0を1ポート装備し、PCから機器設定をすることが可能。また300件まで登録可能な電話帳機能を搭載し、市販の携帯電話番号編集ソフトなどを利用すると、携帯電話端末の電話帳データを本機に転送できる。なお、無線LANのセキュリティー機能は、WEP、WPA-PSKをサポートする。

## ブラウザー「Lunascape 3.5」正式版 ポッドキャストにも対応

Lunascapeは1月17日、タブ切替型ブラウザー「Lunascape 3.5」正式版の提供を開始した。対応OSは、Windows XP/Me/2000/NT 4.0/98SE/2003 Serverで、同社のウェブサイトから無償でダウンロードできる。

バージョン3.1からの主な変更点としては、新たにポッドキャストやOPMLをサポートするほか、機能をマウス操作に割り当てられるようにしたマウスジェスチャーの機能を備える。また、CPU負荷の軽減やメモリリークの不具合などの修正がなされている。

そのほか、Lunascapeの最新版を自動的に更新する「自動アップデート機能」も搭載された。今後は、プラグインやスキンなどにも自動アップデート機能を実装させるという。

http://www.lunascape.jp/

## 楽天、「ケータイ版 楽天アフィリエイト」を開始

楽天のポータル・メディア事業カンパニーは1月16日、「ケータイ版楽天市場」の流通総額増大を目的として、ケータイ向けアフィリエイトサービス「ケータイ版楽天アフィリエイト」を開始した。

これまで、PC向けのホームページ上とメールでしか商品の紹介ができなかった「楽天アフィリエイト」が、ケータイのホームページ上でも紹介可能となった。

ケータイ版楽天アフィリエイトは、「ケータイ版楽天市場」の中から任意の商品を選び、ケータイ向けのホームページ上に掲載、またはケータイメールへ送信するなどの簡単操作で、商品を紹介できる仕組みとなっている。

アフィリエイトの成果報酬は、売上発生月の翌々月10日に、「楽天スーパーポイント」で支払われる。

http://affiliate.rakuten.co.jp/

## 三越とNTTデータ、ブログを活用した来店促進の有効性を検証する実証実験

三越とNTTデータは1月12日、ブログを活用した来店促進の有効性を検証する「感動百貨店レポーター」実証実験を同日より開始すると発表した。

実験では、三越が提供するコミュニティサイト「三越コミュニティサロン」の会員から「レポーター」を募集し、レポーターにはRFID付きUSBメモリを配布。レポーターは、RFID付きUSBメモリーを持って日本橋三越本店に来店して認証を行った後、店内取材（写真撮影を含む）が可能となるレポーター証を受け取る。その後レポーターは、店内取材を行いブログに記事を投稿するというもの。

実験期間は、3月11日まで。最終日には、日本橋三越本店でレポーター参加のイベントを開催し、実験への貢献度などに応じて、表彰と賞品の寄贈を行う。

http://mcs.mitsukoshi.co.jp/


インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

フィードビジネスのイベント「Syndicate San Francisco 2005」レポート

# Web 2.0のプレイヤーたちが語ったシンジケーションの可能性

2005年12月12～14日までの3日間、米国サンフランシスコにてカンファレンスイベント「Syndicate San Francisco 2005」が開催された。今回は、2005年5月にニューヨークで開催されて大盛況だった第1回目に続く開催となる。筆者は、フィードのビジネス活用を推進する団体「フィードビジネス・シンジケーション」での活動の一環として視察を行った。その中から、特に印象的だった点をレポートする。

Syndicateは、RSS/AtomなどのXMLフィード（以下フィード）を利用したコンテンツシンジケーション分野の企業、つまりWeb 2.0カンパニーが、最新の技術／ビジネス動向について情報交換をするカンファレンスイベントである。（ただし、Web 2.0の同義語としての「Live Web」という呼び方が目立った）

キーノートには、W2 Groupのラリー・ウェバー氏やSun Microsystemsのプレジデント兼COOであるジョナサン・シュワルツ氏といった著名人もスピーカーとして登場。RSS／ブログ関連事業者、ベンチャーキャピタルなどを含めて、総勢200人を超える参加者を集めた。

カンファレンスは、大きく4つの分野に分けられ「フィードシンジケーションによるダイナミックコンテンツとしてのメディア」「フィードシンジケーションによる企業にとっての顧客との対話」「フィードシンジケーションによるPR活動」「フィードシンジケーションによる最新技術と標準化動向」といったテーマのセッションで構成された。それぞれは、チュートリアル、キーノート、セッションで構成されていたほか、協賛企業のサービスやプロダクトを紹介する展示ブースなどのショーケースもあった。また、名刺交換の場として、ちょっとしたパーティーも開催された。

このイベントのエッセンスを伝えていたといえるのが、初日に行われたチュートリアルである。モデレーターにノースウェスタン大学メディル・ジャーナリズム大学院のリッチ・ゴードン氏、スピーカーにはYahoo! Publisher Networkのコディー・シムス氏とGoogleのビジネス・プロダクト・マネージャーであるシューマン・ゴセマユンダー氏が登場した。

ゴードン氏は、ここ10年間のインターネットの遍歴を振り返り、次の10年について「トラフィックを集約するのではなく流通させる」「Yahoo!やeBayのようなポータル（集約）からフィードを利用した分散へ」「タギングは、コンテンツの関係性を見つけるための極めて重大な変革」といった発言をして注目を集めた。

Googleのゴセマユンダー氏は、同社のフィードに対するアプローチについて「Googleで提供するフィードはフィード生成のサービスとして、Google News、Gmail、Google Groupsがあり、フィードを利用するサービスとしてPersonalized Home Page、Google Reader、Gmailなどがある」と説明した。

そのほか、マイクロソフトがWindows Liveサービスのプレゼンを行い、同社の次期OS製品であるWindows Vistaとの連携によって、ウェブサービスプロバイダーとなることの決意表明を行うなど、中味の濃いものとなった。

イベント全体を通じて白眉であったのは、「Stalking the Wild Tag」と題したテクノロジー&トレンドセッションだった。Web 2.0のキーワードであるフォークソノミーを実現するタギングをテーマにしたこのセッションには、モデレーターとしてビデオウェブサービスBloqx, IncのCEOメアリー・ホッダー氏、スピーカーには世界的に展開している自主参加型ソーシャルネットワーキングサービスTribe Networks Inc.の創業者マーク・ピンカス氏、写真共有サービスFlickrの創業者カテリーナ・フェイク氏が登場し、ソーシャルタギングがもたらす大きな可能性についての活発な質疑応答が行われた。

http://www.syndicateconference.com/

小川 浩（サイボウズ株式会社）
後藤 康成（株式会社ネットエイジ）
フィードビジネス・シンジケーション
http://www.feedsphere.com/

Googleのフィードアプローチについて語るシューマン・ゴセマユンダー氏（右）とモデレーターを務めたリッチ・ゴードン氏（左）。

Linux Journal誌のドック・シールズ氏は、「Static Web（＝Web 1.0）は場所であり、Live Web（＝Web 2.0）は時間だ」と表現。

Syndicateの公式ウェブサイト。次回は、2006年5月15日～17日にニューヨークで開催される予定だ。

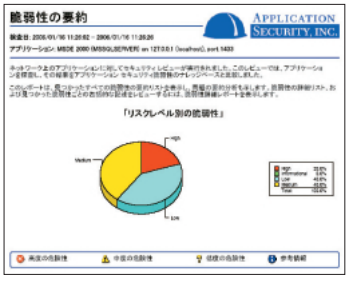
インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

## ラック、データベース脆弱性検査ソフト「AppDetective」の日本語版を販売開始

ラックは、米 Application Security 社のデータベース（DB）脆弱性検査ソフト「AppDetective」の日本語版を1月27日より開始した。この製品は、すでに米国で販売された英語版を、ラックが日本国内での独占販売権を昨年10月に取得し日本語化したもの。今回はGUI以外のレポートや脆弱性情報などに関して日本語化し、7月以降にGUIを日本語化したものを提供する予定。

「AppDetective」は、システム内のDBアプリケーションを自動検出し、脆弱性の検査を行う。外部からの侵入検査だけでなく内部の脆弱性の評価も行い、設定内容が正しいどうかのセキュリティー監査も行うが、それらすべての結果をレポート作成する。対応DBはOracle、SQL Server、DB2、MySQLなど。価格は1DBあたり、エンドユーザー向けが35万円（税別）～、サービスプロバイダー向けが20万円（税別）～で、2006年度の販売目標は2億円としている。当初の販売パートナーは、三菱商事、アルファテックソリューションズ、テクラスを予定。

米国のSOX法（企業改革法）同様、国内でも日本版SOX法化の動きが進んでいる。企業情報の要であるデータベースのセキュリティーへの重要性が今後増してくると予想される。 http://www.lac.co.jp/




AppDetectiveによるセキュリティー検査（Pentest）の結果画面（一部）。

## 米AOLが動画サーチエンジンのベンチャー米Truveoを買収

米AOLは1月10日、カリフォルニア州バーリンゲームに本社を置く動画サーチエンジンのベンチャー企業Truveoを2005年12月に買収したと発表した。

同社によると、12月21日に買収契約が交わされたとしているが、買収金額については明らかにされていない。

Truveoが開発した技術「Visual Crawler」は、従来の検索エンジンが不得意な動画をインターネット上でクロールして関連情報をインデックス化する。他の動画サーチエンジンよりも的確に多くの情報が得られることから注目されていた。

AOLは2003年11月に動画サーチエンジンの米Singingfishを買収。また2005年6月にはAOL独自の動画サーチエンジン「AOL Video Search」を発表している。Truveoは、AOLの「Video and Search」チームに統合される。

## 情報処理推進機構、「オープンソースソフトウェア・センター」を設立

情報処理推進機構（IPA）は、1月1日に「オープンソースソフトウェア・センター（OSSセンター）」を設立した。

OSSセンターは、日本OSS推進フォーラムとの連携のもと、OSSの活用および普及の中核となって、「基盤整備」「情報集約と発信」「普及促進」の3つを柱とした活動を展開する。

「基盤整備」としては、ベンダーやユーザーがOSSを活用してシステム構築する際に有用な情報を整備する。「情報集約と発信」としては、OSS関連情報を蓄積するデータベース（OSS iPedia）を構築する。また「普及促進」としては、OSS利用に際しての課題について整理・提言を実施し、各種情報提供を通してOSSの普及を図る。なお、OSS iPediaは、2006年春に公開される予定だ。

http://www.ipa.go.jp/

## Connexion by Boeingが一部値下げとなるよりシンプルな料金体系に変更

米ボーイング社は、航空機内インターネット接続サービス「Connexion by Boeing」の料金体系を1月31日より改訂する。

新しい料金体系は、従来よりシンプルなものとなっている。時間単位で課金する「Internet Time」と、24時間以内の乗り継ぎを含めたフライトで自由に利用できる「Internet Flight」が用意され、これまで提供されてきた分単位で課金する「Internet Minutes」は廃止された。

新体系の価格は、「Internet Time」が1時間で9.95ドル、2時間で14.95ドル、3時間で17.95ドル、「Internet Flight」が26.95ドルとなっている。

また1月23日からは、Connexion by Boeing利用者へのサービスとして、「BBC World」「EuroNews」などの番組がラップトップ上で無料で見られるようになった。

http://www.boeing.com/connexion/

## 米Novell、オープンソースのLinuxセキュリティープロジェクトを発足

米Novellは1月10日、Linuxシステムとアプリケーションを保護するオープンソースのセキュリティーツール開発プロジェクト「AppArmor」を発足し、同プロジェクトのために、同社のセキュリティーソリューション「AppArmor framework」のコアコンポーネントを提供したと発表した。

「AppArmor」は、同社が2005年に買収した米Immunixの技術。「プロファイル」というシステムリソースごとの権限を記述したセキュリティーポリシーを設定し、これを監視することで、攻撃、ウイルス、悪意あるアプリケーションといった、システム内部ならびに外部からの脅威に備えることができる。

オープンソース版のAppArmorは、「SUSE Linux 10.0」および「SUSE Linux Enterprise Server 9 Service Pack 3（SP3）」にもバンドルされる。


インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

## フリーのデスクトップツール「shelldo」がリリース

シェルドゥーは、個人ユーザー向けの無料デスクトップツールサービス「shelldo（シェルドゥー）」のベータ版サービスを1月17日より提供開始した。

shelldoは、単一の機能ごとにウィジェット化しており、ユーザPCのデスクトップ画面に必要なものだけ常駐させておくことができる。利用に応じて「シェル」と呼ばれる独自のポイントが貯まるのが特徴だ。

http://shelldo.jp/

ベータ版で提供されるおもなサービスは、シェル管理、ウェブ検索、RSSによる主要メディアからのニュースヘッドライン表示など。

## プロックスシステムデザイン 初期費用半額キャンペーンを実施

サーバーサービスを提供するプロックスシステムデザインは、東京都江東区に新たなデータセンターを開設。これに伴い、サーバーの初期費用半額キャンペーンを実施する。

このキャンペーンでは、より安価な価格でサービスを提供することにより、専用サーバーならではの高セキュリティーやパフォーマンス、コストメリットをより多く、幅広い顧客層へとアピールする。

キャンペーン期間は2006年2月1日から3月31日までの間で、先着100名まで。専用レンタルサーバー「E-serverサービス」（支払プランAコースの一括払いを対象）においてE-serverエコノミーが26,145円（税込）、E-serverスタンダードが36,645円（税込）初期費用からそれぞれ割り引きされる。

https://www.prox.ne.jp/

## 増加するIDとパスワードを安全に管理 双日システムズ「All My Key」を発売

双日システムズは1月12日、米Authenex社のエンドポイントセキュリティー製品「All My Key」の販売を開始した。

All My Keyは、ウェブメールやイントラネットなど、ログインが必要なウェブサイトのIDとパスワードを事前に登録しておくことで自動的にログインが可能になるUSBタイプの製品だ。

ユーザーは認証画面からAll My Keyを起動することで、登録したサイトには、アクセスと同時にログインが可能になる。また、ドライバーとソフトウェアを内蔵し、USBに挿すだけで利用が可能。

登録可能サイトは200以上、データは128BitのAES暗号化されており、紛失時の対策として連続不正ログイン時に自動的にデータを抹消する機能などを有する。

http://security.sojitz-sys.com/

# Event Calendar

これから開催される国内外の主要なIT関連イベントをご紹介。
イベント情報掲載希望の方は、次のメールアドレスまでご連絡ください。
im-release@impress.co.jp

| 期日 | 名称 | 場所 | URL |
|---|---|---|---|
| 2/1-2/3 | NET&COM 2006 | 東京ビッグサイト | http://expo.nikkeibp.co.jp/netcom/ |
| 2/8-2/9 | 2006 Media Summit | ニューヨーク（米国） | http://www.digitalhollywood.com/MediaSummit.html |
| 2/13-2/16 | 3GSM World Congress 2006 | バルセロナ（スペイン） | http://www.3gsmworldcongress.com/ |
| 2/22-3/3 | APRICOT | パース（オーストラリア） | http://www.2006.apricot.net/ |
| 3/1-3/3 | Oracle OpenWorld Tokyo 2006 | 東京国際フォーラム | http://www.oracleopenworld.jp/ |
| 3/6-3/9 | O'Reilly Emerging Technology Conference | サンディエゴ（米国） | http://conferences.oreillynet.com/et2006/ |
| 3/7-3/10 | SECURITY SHOW 2006 | 東京ビッグサイト | http://www.shopbiz.jp/pages/t_index.phtml?PID=0003&TCD=SS |
| 3/9-3/15 | CeBIT | ハノーバー（ドイツ） | http://www.cebit.de/ |
| 3/15-3/16 | 第5回ケータイ国際フォーラム | 京都パルスプラザ | http://www.itbazaar-kyoto.com/forum/ |
| 3/20-3/22 | Microsoft MIX06 | ラスベガス（米国） | http://www.mix06.com/ |
| 4/3-4/6 | LinuxWorld Conference & Expo 2006 | ボストン（米国） | http://www.linuxworldexpo.com/live/12/events/12BOS06A |
| 4/5-4/7 | CTIA WIRELESS 2006 | ラスベガス（米国） | http://www.ctiawireless.com/ |
| 4/20-4/21 | Search Engine Strategies 2006 Conference & Expo Japan | 東京ファッションタウン | http://www.idg.co.jp/expo/ses/ |
| 4/22-4/27 | NAB | ラスベガス（米国） | http://www.nabshow.com/ |
| 4/23-4/25 | 2006 IEEE International Conference On Networking, Sensing and Control | フロリダ（米国） | http://www.ieeeicnsc.org/ |
| 4/23-4/29 | 25th IEEE International Conference on Computer Communication | バルセロナ（スペイン） | http://www.ieee-infocom.org/ |
| 4/27-4/28 | Wireless Technology Park 2006 | パシフィコ横浜 | http://www.wt-park.com/ |
| 5/10-5/12 | E3（Electronic Entertainment Expo 2006） | ロサンゼルス（米国） | http://www.e3expo.com/ |
| 5/10-5/13 | EXPO COMM WIRELESS KOREA 2006 | ソウル（韓国） | http://www.expocomm.com/wirelesskorea/ |

※上記の情報は変更になる場合があります。応募・参加の際には必ず主催者にお確かめください。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

# ［インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ］ ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D（株式会社インプレスから分割）が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

http://i.impressRD.jp/bn

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレス R&D）、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D（当時は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先
株式会社インプレスR&D
All-in-One INTERNET magazine 編集部
im-info@impress.co.jp

Copyright © 1994-2007 Impress R&D, an Impress Group company. All rights reserved.